

ナットソース・ジャパン株式会社

東京都 中央区 日本橋 室町 4-4-10, 東短ビル5階
TEL 03-5200-1710
FAX 03-5200-3369



お客様各位

いつも大変お世話になっております。ナットソース・ジャパンでございます。

今月は、ナットソース・グループが総力を挙げて取組んで参りました排出権の共同購入スキーム(通称GG-CAP)がこの度最終クローズ(申込締切)を迎えたことを最初にご報告させていただきます。NJL本誌内でご報告させていただきますが、日本国内外から数多い企業にご参加頂き、今月マドリッドで行なわれた国際排出量取引協会(IETA)の年次総会の場でその規模等を発表させていただきました。皆様のご期待を裏切らないよう、今後も活動を続けて参ります。

では、今月も弊社ニュースレターのご案内をさせて頂く時期になりました。本誌をご購読頂いておりますお客様へは、28日(金)に電子メールを介しての配信を予定致しておりますので宜しくお願い致します。

- ・ 今月18日に「暫定」という言葉が外れた「CDM 運行管理弁法」が中国政府のCDM情報関連ウェブサイトにおいて公開されました。10月12日より施行された新弁法の第26条において記載された内容により、中国のCDM管理法規は新しい弁法に一本化されることになりました。この内容は、昨年6月30日より施行されていた「CDM 運行管理暫定弁法(旧弁法)」と殆ど変わらないものですが、いくつかの変更点が見られるため、今回はこの新旧弁法の変更点を紹介させていただきます。
- ・ 9月26日、気候変動に関する政府間パネル(IPCC)の全体会合において、ワーキンググループによって作成された「CO₂の回収及び貯留に関する特別報告書」が受諾されました。この今回受諾・公表された特別報告書では、既にある知見を結集させ、同技術が気候変動対策として有効かどうか検討を行ってありますが、初めてこの技術に関して国際的に且つ総合的に様々な観点から評価した点において意義があると思われれます。この技術が地球温暖化対策として有効か否かを評価するためには、幾つか検討する点があると思われるので、それらについて弊社なりに考察してみました。

NJLでは、排出権、卸電力、RPS、天候デリバティブなどの話題を採り上げ、弊社なりの視点でご報告させて頂いております。各種取引または当社サービスにつきましてのご質問、ご相談などがございました際には、お気軽に弊社までお問い合わせ下さい。

ナットソース・ジャパン株式会社

東京都 中央区 日本橋 室町 4-4-10, 東短ビル5階
TEL 03-5200-1710
FAX 03-5200-3369



また、NJLはこの夏8月号より電子メール(PDF添付)での配信形式に変更しております。下記URLより過去のNJLの目次を確認することが可能でございます。

バックナンバー：http://www.natsourcejapan.com/njletter/contents_2005.html

お申し込み：<http://www.natsourcejapan.com/njletter/index.html>：03-5200-1710（代表）

弊社HP：URL：<http://www.natsourcejapan.com/>

排出権関連：info@natsourcejapan.com：03-5200-1710

RPS関係：rps_nj@natsourcejapan.com：03-5200-1710

卸電力取引：power@natsourcejapan.com：03-5200-3368

天候デリバティブ：weather@natsourcejapan.com：03-5200-1072

今後とも宜しくお願い致します。